

# ガソリンスタンドなどの油汚染対策技術

## 油汚染の特徴

油汚染は油の種類（ガソリン、軽油、重油、切削油等）や土質（砂、粘土等）などの種類によって、汚染の広がりや挙動が異なります。

そのため、現場ごとに適切な対策方法を選定する必要があります。

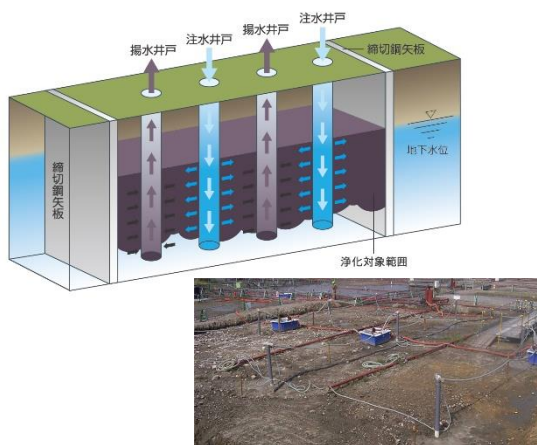
## 油汚染調査・対策

平成18年3月に環境省が公表した「油汚染対策ガイドライン」に従って対応します。

- ・油臭・油膜による不快感などの生活環境の保全が目的
- ・土地の表面、使用中の井戸水などが対象
- ・現場の状況に応じて個別に検討

## 揚水+注水

汚染地下水を揚水し、地上に設置した水処理設備で浄化したのち、注水を行うことにより浄化効率を高めます。



## 土壌洗浄

土壌を機械的に洗浄して油を分離する方法です。土壌を粒度により分級して、対象物質が吸着・濃縮している粒度成分を分離します。



油の種類や土質によっては、油が水に浮くことを利用して簡易な設備でも対応できます。



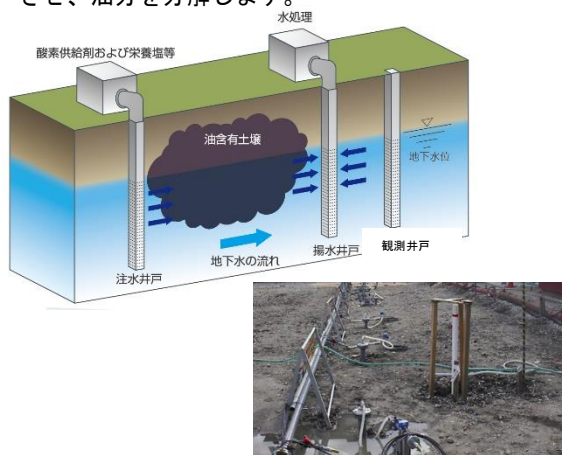
## 主な油汚染対策技術

対策技術		土壌洗浄	改質(注)	熱脱着	バイオレメディエーション	揚水+注水	化学的酸化分解	油回収
適用条件								
油の種類	ガソリン	×	○	○	○	○	○	-
	灯油・軽油・A重油等	○	○	○	○	○	○	○
	C重油・機械油・原油等	○	△	○	△	△	△	○
対象媒体	レキ・砂	○	○	○	○	○	○	-
	シルト	△	○	○	△	△	△	-
	粘土	×	△	○	×	×	×	-
	地下水	-	-	-	○	○	○	○

(注) 温熱処理やセメント混合処理など

## バイオレメディエーション

酸素や栄養塩などを溶かした水溶液を、井戸から注入することにより、土壌中の微生物を活性化させ、油分を分解します。



## 温熱処理

土壌に生石灰を主体とした改質材を混合し、発生した熱により土壌中の揮発成分を揮発させ、活性炭に吸着回収すると共に、油臭・油膜を抑制します。

